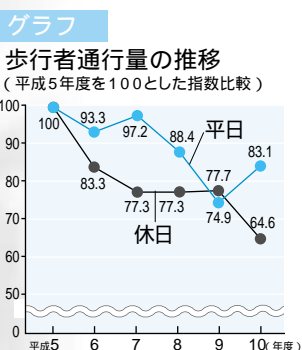


特集  
中心市街地の活性化

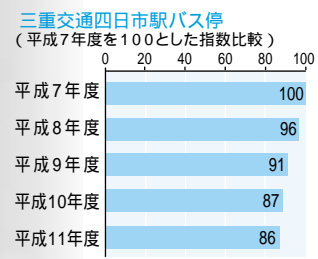
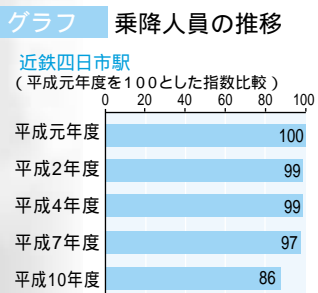
# 行きたくなくなるまち、 住みやすいまちに



豊かな市民生活や経済活動を支える重要な役割を担う市の中心市街地は、現在、人口の減少や高齢化の進展、商業の不振、買い物などで街を訪れる人の減少などにより、空洞化の問題を抱えています(グラフ)。(グラフ)。人口減少や高齢化の主な原因は、生活の場が郊外へ移ったことが考えられますが、なかでも、中心市街地では住宅敷地が狭い

## 目立つ空き店舗 少なくなつた人通り

市の中心市街地では、最近、以前より人通りが少なくなり、シャッターを閉めたままの店舗も目立つなど、空洞化が進んでいます。歴史や文化の担い手としての中心市街地が復活するためには、市民・商業者・行政が一体となって取り組む必要があります。そこで、現在、市では活性化に向けて目指すべき方向を示す「中心市街地活性化基本計画」の策定を進めています。この特集では、中心市街地の現状と商店街や市の活性化への取り組みをお知らせします。



ために世帯分離ができず、やむなく若者が郊外に転出することが大きな要因の一つです。さらに、人口が減ることで、まちの活力を失わせる悪循環を生んでいます。また、商業の不振の原

因としては、長引く景気の低迷のほか、車社会の急速な進展に対応できなかったことや消費者の要望をうまくつかんだ郊外型の商業施設が進出したことなどが挙げられます。



空き店舗が見られる商店街

## 活性化に向けて、さまざまな取り組みが始まっています

### こだわり商店街創出事業

3店舗以上の店が集まり、消費者の視点に立ったこだわりを持った商品やサービスを提供する事業に、市が必要経費の一部を助成する制度。平成12年度からスタートし、本年度は次の5件を採択。

市商店街連合会がインターネット上でモールを形成する「インターネット・ショッピングモール」若者をターゲットにした「フリーペーパー発行」



「朔日恵比須まつり」の横断幕が掲げられた商店街

廃材利用による商品の制作や販売をする「リサイクルによる素材マーケット」  
諏訪神社周辺で開催する「朔日恵比須まつり」  
本町通りで開催する「古本市とフリーマーケット」

### 商店街応援団事業

ストリートミュージシャンや大道芸人といった「商店街応援団」を中心市街地に派遣。

### パズルパソコン教室

商店街の空き店舗を利用し、市の助成制度を活用して、諏訪西商店街振興組合が開設。パソコン教室やインターネット・電子メール活用講座などを開催。

### 諏訪公園内拠点施設整備事業

公園内の「こどもの家」を子どもだけでなく幅広い世代が利用できる空間として検討・整備。

### 諏訪栄空店舗対策協議会

空き店舗の情報を整理し仲介を行い、その結果平成12年11月までに48の空き店舗のうち、13が新規開店。



空き店舗を活用した新しい店づくり

一方、この地域は公共交通機関の拠点として一大ターミナルを形成しており、これからの高齢社会でも活用できる無限の可能性があります。また、道路、駐車場などの

新しい方向が求められていることが分かりました。一方、この地域は公共交通機関の拠点として一大ターミナルを形成しており、これからの高齢社会でも活用できる無限の可能性があります。また、道路、駐車場などの

## 今ある施設の活用や個性ある店づくりを

中心市街地を訪れる人たちに、まちに求めるイメージを調査したところ、「個性的な店や遊べる施設など、多様な機能を持つ」、「情報や文化がたくさんある」、「高齢者に優しく住みやすい」ことなどがあげられ、今までと変わった新

都市基盤や病院、博物館、文化会館、図書館、公園など施設も充実しています。さらに、再開発事業による高層マンションの整備が行われており、居住空間の整備も進んでいます。

このことから、活性化を進めるためには、これまで蓄積された都市基盤や施設などの活用と商業の方向転換が基本的な課題と考えられます。市でも、活性化基本計画の策定を進めるとともに、商店街が活性化に向けて取り組むさまざまな事業を支援しています(左コーナー参照)。

## バリアフリー化を進めるなど安心して安全なまちに

市では、利用するすべての人に優しい中心市街地にするため、バリアフリー化を進めています。近鉄四日市駅へのエレベーターの設置や乗

り降りしやすい低床バスの導入、歩道の段差解消、電動スクーターなどを貸し出す「タウンモビリティ事業」などを具体的に進めることで、高齢者や障害のある人が安心して安全に買い物や散策を楽しめるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

### まちへ出掛けてみて

### 情報発信や親しみやすい工夫を



牧野美穂さん(五) 桜新町

時間をかけて歩けば楽しい発見があると思いますが、どこにどんな店があるか分かりませんし、

駐車料金が高くなるのも問題です。主婦や若者など客層別のタウンマップを作ったり、店同士が連携して駐車料金を安くしたり、託児所を用意するなどの工夫をして、便利で楽しく過ごせるまちになればと思います。

### 活性化に取り組んで

### 楽しみながら交流できる商店街を



野村愛一郎さん(四) 諏訪西商店街振興組合副理事長

インターネットなどを活用した情報発信に取り組む一方で、商品やサービスを提供するだけでなく、訪れる人が楽しみながら交流できる、参加型の商店街を目指したいと思っています。これまでの取り組みでは、フリーマーケットや市民が大道芸を習い披露する、クラウンスクールなどを行っています。これからも市民の発表の場としても活用できる商店街づくりをしたいと思っています。